

平成17年度 一般財源研究費傾斜的研究費(全学分)研究報告書

研究テーマ [③若手研究者奨励研究]

研究課題名	ネパールにおける人身取引の被害をうけた児童・青年の精神健康とSTIおよび性的問題行動との関連		
研究者または研究代表者名	所属部局名		職名
加藤 星花	首都大学東京健康福祉学部看護学科		准教授
研究実績の概要			
国連等において、人身取引に対する早急で確固たる支援体制が求められているが、その被害者の多くが存在する発展途上国では、彼らに対するケアや社会復帰へのサポートは十分な経済的支援のないNGOに頼らざるを得ない現状がある。また、被害者の精神状態を多面的に把握した科学的データもほとんど存在していない。これらの問題に取り組み、適切な支援枠組みを構築するために、被害者の実態とニーズを把握すべく、発展途上国の一つで人身取引が国レベルの問題となっているネパールにおいて、ネパール側の協力を得て実際の保護施設の現状を把握し、被害者用の質問紙を作成することとした。研究代表者は、平成17年10月に首都カトマンズに渡航した。ネパールには全部で34の人身取引被害者用NGO保護施設が存在するが、そのいくつかを見学した。一つは住宅街のアパートの一室にあり外観からは保護施設であるとはわからないようになっていた。それは、人身取引の仲介ブローカーが保護された被害者を再度連れ出すことがあるため、その防止策であった。被害者のプライバシー保護のため彼らとは面談は行わなかった。スタッフとの対談の中で、スタッフもかつては被害者であり、今は被害者や自分たちの権利を守るため、一般人への啓蒙活動を行っているとのことであった。被害者達は抑うつなどの精神保健問題が非常に深刻であり、対人的にも関わるのが難しいものが多いとのことであった。また、人身取引の与えたトラウマは計り知れず彼らのQOLに大きな影響を与えているにもかかわらず、目にみえないため周囲の理解を得ることが難しく、被害者に対するケアの難しさを語っていた。また、スタッフ自身のスキル不足により、被害者への対応に追いつかない状態でもあるとのことであった。解決されるべき様々な問題も未だあることが示唆され、被害者の現状を踏まえた上で質問紙を作成し、研究枠組みの基盤を確定した。			

研究発表 [雑誌論文発表、図書、学会発表等]			
著者（講演者）	論文題目（発表題目）	発表誌（発表大会名）	年月
Atsuro Tsutsumi Ph.D., Takashi Izutsu Ph.D., <u>Seika Kato Ph.</u> <u>D.</u> , Md. Akram ul Islam Ph.D., Helena Sayuri Yamada M.D., Hiroshi Kato M.D., Ph.D., Su sumu Wakai M. D., Ph.D.	Reliability and validity of the Bangla version of W HOQOL-BREF in an adul t population in Dhaka, Ba ngladesh	Psychiatry and Clinical Neurosciences,	In press